



てんかんセンター巡り 第31回

山口大学てんかんセンター

施設概要

- 住所 〒755-8505 山口県宇部市南小串 1-1-1
- 電話 0836-22-2068 (外来係)
- ホームページ <http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/section/82.html>

日本てんかん学会 小児科3名 脳神経外科1名
専門医・指導医

施設の特徴・活動内容

山口大学医学部附属病院は、瀬戸内海に面した山口県西部にあり、29診療科と24の診療部を擁し、ベッド数736床の県内唯一の特定機能病院であり、山口県の中核医療機関としての役割を担っています。

当院において、てんかん診療は主に小児科、神経内科、脳神経外科、精神神経科の4科がそれぞれ担当してまいりました。これらの科が協力し、より良い治療が皆さまにご提供できるよう、2016年4月1日、山口大学てんかんセンターを開院いたしました。まだ、で

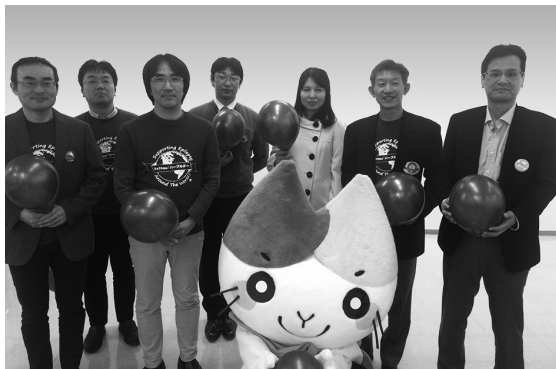
きたてほやほやのセンターです。

近年多くの新たな抗てんかん薬が使用可能になり、薬物治療の幅が広がってきました。しかしそれでも、正確な診断、治療法の選択が重要であることは言うまでもありません。

当院においては、定期的に行われるてんかんカンファレンスにおいて難治例、手術症例などの検討を行い、最も適切な治療法について話し合い、場合によっては科をまたいだ治療を行っています。外来での脳波などの検査はもちろんのこと、必要に応じて入院していただき、長時間ビデオ脳波検査を行い、診断を確実にしていきます。最近はおよそ年間



JEPICA
Japan Epilepsy Center Association
全国てんかんセンター協議会



てんかん市民公開講座にて

30件の施行となっています。

薬物治療でどうしても発作コントロールが困難な場合には、外科的治療を検討します。当院では焦点切除術、海馬切除術、脳梁離断術などの開頭手術に加え、緩和手術である迷走神経刺激装置埋込術なども行っています。

また、てんかんセンターの大きな責務として、てんかんの啓発活動があると考えています。当センターでも今年のパープルデーに合わせ、約140人の方にご参加いただき、第1回のてんかん市民公開講座を開催しました。今後もこのような活動を積極的に行っていく予定です。また、これ以外にも病院内・外での勉強会を行っています。

患者さんへのメッセージ

先ほど挙げた4科のみならず、先進救急医療センター、集中治療部、手術部、看護部、検査部など多数のスタッフが、県内唯一のJEPICA加入てんかんセンターとして、患者さんによりよい治療が提供できるよう、タッグを組んで日常診療を行っています。てんかんについて悩んでおられる方はぜひ当センターにご相談

ください。

当院では、基本的には初回外来診察は予約制とさせていただきます。かかりつけの病院・医院があれば、できるだけそちらから診療予約をとっていただきます。かかりつけがない方などは、まずお電話をください。受診方法について検討のうえ、後日ご連絡させていただきます。

(脳神経外科 井本 浩哉)

